

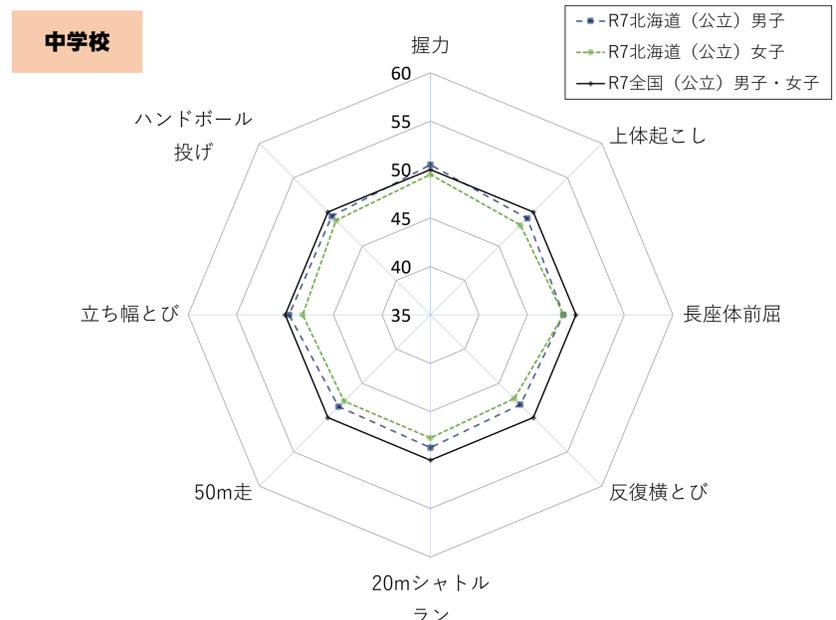
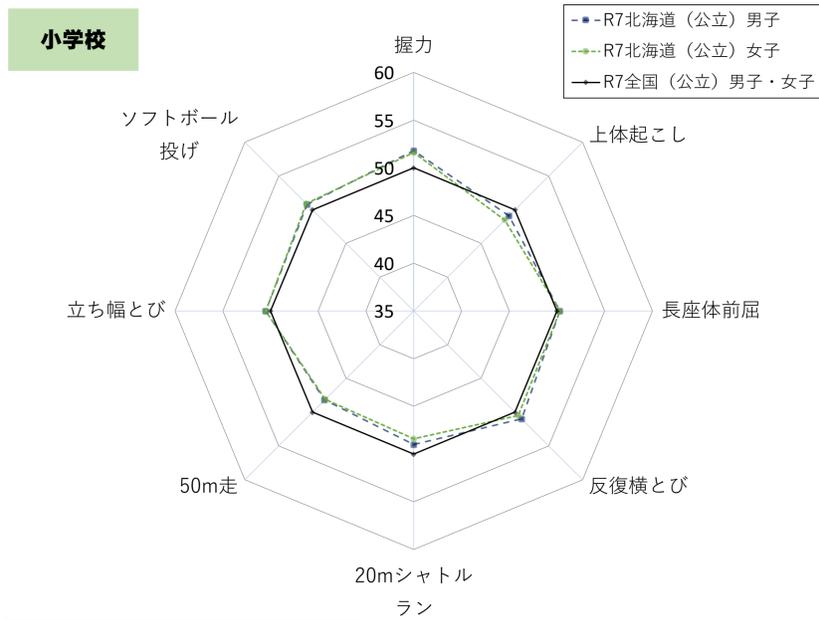
令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 苫前町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数:小学校2校・児童数13名、中学校1校・生徒数13名

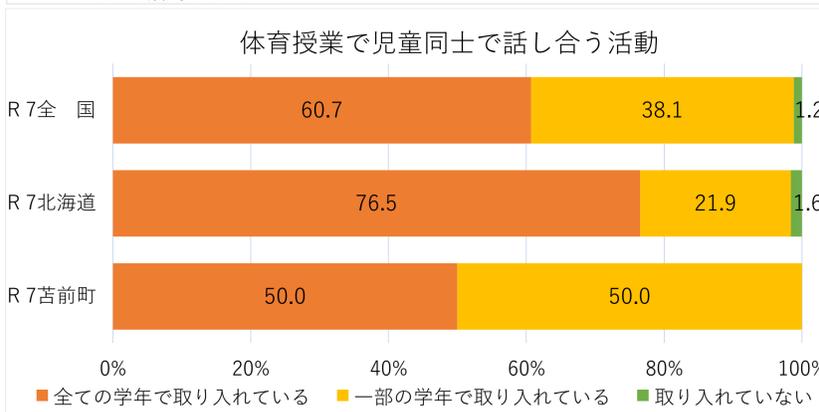
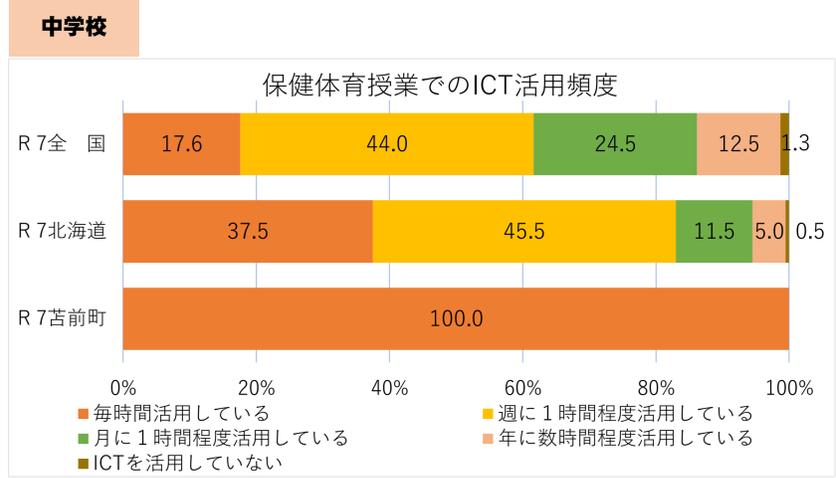
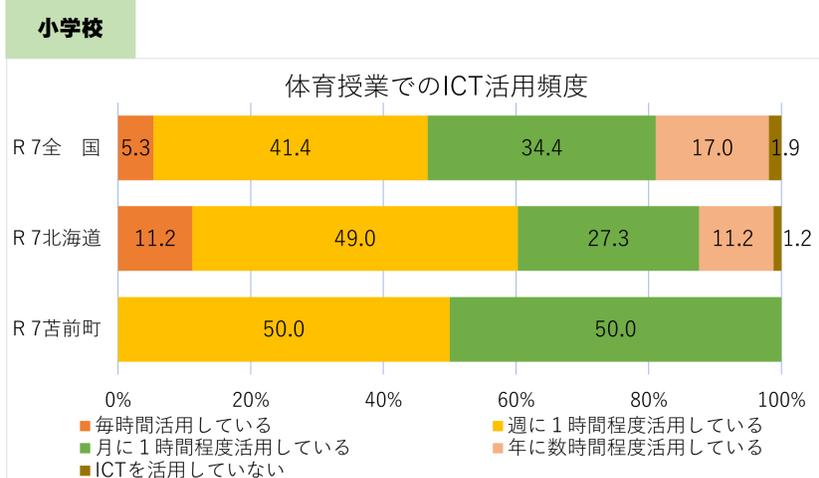
児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、苫前町の各種目のデータは掲載していない

■ 実技に関する調査の状況

・各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道の状況をレーダーチャートで表示



■ 学校質問調査の状況



■ 調査結果の分析

小学校

- ・小学校においては、ICTや児童同士での話し合いの機会などを活用しながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「スポーツが好き」、「スポーツに興味がある」と感じる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・一方、体育の授業が楽しい、いつも進んで学習している、と回答した割合は全国及び全道を下回っており、児童に興味を持ってもらえるような授業になるよう、継続して研究を続けていく必要がある。

中学校

- ・中学校においては、保健体育授業において継続的にICTを活用し、生徒同士での話し合いの機会を設けることにより、積極的に体育の時間に取り組み、「体育の授業がたのしい」、「授業に積極的に参加している」と回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・生徒質問調査において全体的に肯定的な意見が多く、現状の体育の授業のあり方を維持することが望ましいと考えられる。
- ・一方、実技の総合評価は全国及び全道を下回っていることから、興味や積極性を実技の評価上昇につなげられるよう、取組を進めていく必要がある。

■ 苫前町の体力向上に向けた改善方策

- ・運動やスポーツに親しむ心の育成を目指した体育・保健体育授業の充実及び環境整備
- ・関係機関・団体等と連携した、スポーツに触れ、健康作りにつながる事業の実施
- ・体力づくりから心身ともに健康な育成を図る「スポーツチャレンジクラブ」「バルシューレ体験会」等社会教育事業との連携の実施